

第106号

2023年7月

風

発行

群馬県生協連女性協議会
群馬県前橋市大友町1-13-12
学校生協会館3階

「風」はホームページでもご覧いただけます

<https://gunma-ccu.jp/>
Eメール: post@gunma-ccu.jp

6月20日(火)

女性協議会第30回定期総会を開催

第一部：定期総会では全ての議案が賛成多数で可決されました



木樽会長

布見所長

第30回群馬県生協連女性協議会定期総会が、6月20日(火)群馬県生涯学習センターで開催されました。今年度は4年ぶりに会場開催が実現でき、代議員44名、オブザーバー16名、運営委員9名、事務局3名、招待2名の参加総数72名で無事に開催することが出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。徐々にではありますが女性協の活動をコロナ禍前に戻しながら運営してまいりました。2023年度も引き続き男女共同参画を広げていくことを目的とし、皆様と一緒に学習や交流に取り組んでいきたいと考えております。

定期総会は木暮運営委員（北毛保健生協）が司会進行し、議長はコープぐんまの橋爪寛子理事が務めました。木樽会長の開会挨拶後、ご来賓の群馬県生活こども部・生活こども課・男女共同参画室室長兼ぐんま男女共同参画センター所長 布見洋美様よりご挨拶を頂戴しました。また JA ぐんま中央会女性組織協議会会長 阿左見洋子様よりメッセージを頂きました。



木暮さん 橋爪さん



藤原副会長

第1号議案「2022年度活動報告及び活動費報告承認の件」を藤原副会長から、第2号議案「2023年度活動方針及び活動費計画決定の件」から第4号議案「役員補充選任の件」までを木樽会長から議事提案し、全て賛成で可決しました。最後に藤原副会長より閉会の挨拶があり総会を終了しました。

2023年度会長 木樽千恵子（コープぐんま）

第二部:ハレルワ 間々田 久渚 代表による「LGBTQについて」の講演を開催



講師：間々田久渚氏

6月20日女性協議会 第30回定期総会の第二部の企画として、一般社団法人ハレルワ代表である間々田久渚氏を講師に、記念講演LGBTQについて「性の多様性について考えよう」～互いの違いを受け入れ合える社会を目指して～が開催されました。

間々田氏は幼少期よりの心と性の不一致でいじめや辛い体験をし、行政・学校・企業などからの依頼で講演・研修・イベントなど様々な啓発活動を行っているそうです。LGBTQ が直面する

課題は多く、教育・就労・法律・医療・福祉・地域と多岐にわたっています。SDGsの「誰も取り残さない・ジェンダー平等・多様性」を学び、受け入れることの重要性を熱く語っていただきました。



2023 年度副会長 藤原京子（利根保健生協）

【参加者の感想】

ジェンダーという言葉が、普通に聞かれる様になり、LGBTQ法案が取りざたされる今、この学習会はタイムリーであったと思います。LGBTQの他にも総称が沢山あることに驚きました。この総称別は私たちが気づいていないだけで、含まれているのではと思いました(日本人の3~10%と言われている)。

ご本人の体験経過のお話から、まずは教育現場での理解が必要だと思いました。差別や偏見の為受けている、LGBTQの人達の社会的困難を取り除けて行けると良いですね。私たちが正しい理解、認識を持てるようこれからも発信して行ってほしいですね。

はるな生協 吉田寿美子

この度は大変貴重な講話を頂き、誠にありがとうございました。

間々田様の実体験を堂々と包み隠さず話される姿を見て、手前勝手ですが、金子みすゞを思いながら聞き入っていました。～みんなちがってみんないい～代表的な詩の一節ですが、性差や性自認なんか、本当にみんなちがってもいいと、誰もが自然に思える事を願います。特に、不用意な発言で傷つくというお話から、自分自身、意識の本質を変える必要があると思いました。

パルシステム群馬 畠山重利

とてもわかりやすい話をいただきありがとうございました。LGBTQ・・・よく耳にしますが、周りにカミングアウトする人もいなく、LGBTQについて知りたいけど知ることができないでいました。今日は間々田さんが体験談も含め、丁寧に説明くださいましたので、理解が深まりました。

例えば、「私の周りにカミングアウトする人がいない」と思っていたのですが、「私の周りにカミングアウトできない人がいる」んだなと思いました。何事も「知って理解する」って大事だと思っています。

生活クラブ生協

体験談を聞き、実際思っていたより色々な悲しい辛い思いをしていることを再確認しました。私にできることをしたい。個々を一人一人色々な人がいるということをすべての人が認め合うことが必要だと思いました。これからもその思いを忘れずに生活していこうと思う。

中学校でも名簿（混合）、女子のスラックス導入など変わっているのでも少しずつでも変わっていき、個々が認められるようになってほしい。

コープぐんま

新任・退任運営委員からのメッセージ

第30回定期総会において、運営委員2名が退任となり、新たに2名の運営委員が任命されました。新任・退任された4名の方から機関紙「風」にメッセージを寄せていただきましたので、ご紹介いたします。



茂木さん（新任）

富山さん（新任）

田代さん（退任）

中野さん（退任）

退任委員からのメッセージ

運営委員をさせていただき、視野が広がりました。まずは、他生協の事業内容や組合員活動のようすを詳しく知ることで大変参考になりました。男女共同参画、ジェンダー平等、人権についてたくさん学ばせていただき、今はまだまだ道半ば・いやそれ以下？ということも実感しました。

これからも色々な場面で「それって変じゃない？」と突っ込んで、周りを巻き込みながら意識改革に取り組みます。3年間ありがとうございました。

群馬中央医療生協 中野真由里

コロナ禍で運営委員になり、女性協議会の活動も制限がかかる中で運営委員の皆様とできることを進めてまいりました。ジェンダー平等で立ち遅れる日本。男女共同参画を広げていくのは果てしない課題です。身近なことでは、育休を取る男性が少しずつ増えてきたこと、彼らが多数になったとき、世の中が変わっていくのかもしれない。

2年間大変お世話になりました。今後も女性協議会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

パルシステム群馬 田代裕子

新任委員からのメッセージ

医療生協の職員として25年勤務し、生協の成り立ちや、考え方について学んできました。そして退職後は支部運営委員として地域の組合員さんに支えられながら活動に携わって参りました。振り返ると、仕事と家庭と介護も10年くらいありましたので、その時は大変でしたが今となってはいろいろな経験を経ることができたと思っています。

女性協議会の活動内容についてよくわかりませんが、他生協の方と交流しながら学んでいきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

群馬中央医療生協 茂木真理子

今年度よりお世話になります。

運営委員として参加させていただくことで、私が当たり前と思い過ごしている様々なことをもう一度考えてみるよい機会を与えていただいたと感謝致します。

活動についてはまだわからないことも多いですが、これから他生協の皆様とご一緒に活動することで学ぶことを楽しみにしているとともに、自分の成長につなげていきたいと思っております。

微力ながら頑張らせて頂きますので、どうぞよろしくお願いいたします。

パルシステム群馬 富山晶子

3月28日(火)

春休み企画「家庭における性教育」をテーマに学習会をZOOMで開催
講師：NPO法人ピルコン キム・ハリムさん



田代さん



木樽さん

群馬県生協連女性協議会では、3月28日(火)に「家庭における性教育」をテーマとした学習講演をオンラインで開催しました。平日昼間の開催でしたが、春休み期間中の企画ということもあり、合計約41名が参加、そのうち、7家族は親子での参加(子供の参加は約11名)でした。



キム・ハリムさん

NPO 法人ピルコンは、「人生をデザインするために性を学ぼう」をコンセプトに、科学的に正確な性の知識と人権尊重に基づく情報発信により、若者と共に、これからの世代が自分らしく生き、豊かな人間関係を築ける社会の実現を目指す非営利団体です。

今回の学習講演ではNPO 法人ピルコンのキム・ハリムさんが講師となり、チャット機能を活用した参加者との対話も交えて行われ、日本の性教育について、子供との接し方や話し方、月経・避妊・性感染症・デートDVなど、普段話題にすることをためらわれがちな内容について、あいまいにせずはっきりした言葉で説明いただきました。

最後に、女性協議会 藤原副会長(利根保健生協)から「小中学校の生徒に参加いただけてうれしい。女性協議会の活動30年の中で初めて男女の性についての講演が行われた画期的な日になりました」と閉会のあいさつがあり、約90分の学習講演を終了しました。



藤原副会長

1人の人間として自分の人生をより良いものにするためと周りの人達を大切にするための教育と感じました。

気になる話題ではあるけれど、なかなか聞く機会がない中、このような機会があったとてもよかったです。

普段聞けないリアルなお話でしたので、子育てが終わっている私でもとても勉強になりました。そして何より日本の性教育がいかに遅れているかを知りました。

参加者の感想

性教育は人権教育であり、ジェンダー平等の視点からも重要であることなど、もっと広く周知されるべきと感じました。

保護者目線のお話がとても参考になりました。

私が子どものころと環境が変わってきているので、自分の子どもたちにどう伝えていったらいいか、とても参考になりました。

今迄は家庭で性についての話はしたことがなかったのですが、今日は春休み中ということもあり中3の息子、小5の娘と一緒に視聴しました。性について話すことは恥ずかしことではなく、これから成長していくうえでとても大切なことであることを親子で学ばせていただきました。